

## 幽門部胃癌における臍頭後面リンパ節への転移経路

—その解剖学的理解について—

加藤浩樹 八巻孝史 大山繁和 太田恵一朗 松原敏樹  
太田博俊 高橋 孝 中島聰總 武藤徹一郎

癌研究会附属病院外科

### 目 的

幽門部胃癌における臍頭後面リンパ節 (8p, 12, 13) への転移経路を発生学的, 解剖学的に解析する.

### 対象と方法

対象は1987年1月から1997年12月までにD3, D4手術が施行された幽門部胃癌切除例130例である. 方法は臍頭後面リンパ節への跳躍転移例の存在を明らかにし, また4dリンパ節に対する術中リンパ管造影の観察結果を踏まえて, 臨床的に幽門下から臍頭後面リンパ節への転移経路の存在を明らかにする. さらにその転移経路を発生学的, 解剖学的に解析する.

### 結 果

- 1) 幽門下から臍頭後面リンパ節群への跳躍転移は10例 (7.7%) であった.
- 2) 術中リンパ管造影では, 6番リンパ節が黒染した後に, 12b, p. 13. 8pリンパ節が黒染するのが観察された.

### 考 察

三木モデルを用いてリンパ経路を解析した. 幽門部は大動脈から分岐する1本の分節動脈から血流を受け, これは総肝動脈となる. 分節動脈は右枝, 左枝に分かれ, 右枝は固有肝動脈, 左枝は胃十二指腸動脈となる. 固有肝動脈からは右胃動脈が分岐し, 胃十二指腸動脈からは右胃大網動脈, そして前後の上臍十二指腸動脈が分岐する. これを結腸の血管支配と比較してみる. 総肝動脈は結腸動脈に相当し, 右胃動脈, 右胃大網動脈, 前後の臍十二指腸動脈は辺縁動脈に相当する. 結腸癌においては中枢側のみならず, 横方向への転移経路が存在することは周知の事実であり. これを幽門部癌に当てはめれば12, 13番への転移は横方向への転移, 8pへの転移は中枢側への転移と推察された.